

第2次総合計画施策評価シート《令和3年度分》

施策コード	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち
3 — 4	施策目標	4	文化・芸術の振興
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する		
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化化する		
	   		

目指すべきまちの姿	市の歴史文化を発信する拠点として、歴史民俗資料館が有効に利用され、歴史文化に対する関心と地域への理解が深まっています。
-----------	-------------------------------------------------------------

●主要施策と概要【PLAN】	この1年間の成果及び反省点【DO】	担当課	評価【CHECK】
(1) 文化芸術団体、指導者の育成 ・市民主体の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため指導者の育成・確保を図ります。	市文化協会に生涯学習講座1講座の講師を依頼しました。今後も発表の場の提供や生涯学習講座等市主催事業への講師派遣を依頼するなど活動を支援し、市文化協会や市文化財保存会と協働して指導者の育成・確保をに努めます。	生涯学習課	C
(2) 文化財の保存活用 ・無形文化財保存団体への助成及び文化財保存会との協働により市の無形文化財（伝統芸能）の保存と伝承活動を推進します。 ・市の有形文化財の保存・普及事業を推進します。	前年度に続きコロナ禍により、ほとんどの地区で祭礼及び伝承活動が中止となったため十分な成果は得られませんでした。無形文化財保存団体への助成は、申請件数が少ないながら実施できました。市内の有形文化財に対し、修繕や環境整備等維持管理費の助成を行い保存に努めましたが、普及事業については、事業の中止が相次ぎ十分な成果はありませんでした。	歴史民俗資料館	D
(3) 歴史民俗資料館の有効活用 ・新庁舎建設後の図書館棟への移転を契機に常設展示を見直すとともに、リピーター確保に向けた新たな企画展等を充実します。 ・SNSを活用した、市の歴史文化にかかる、さらなる情報発信を行います。 ・市内小学校との連携により、地域の歴史文化の理解・共有を図ります。	令和4年度当初の資料館のリニューアルオープンに向けて図書館棟の改修工事を実施し、工事完了後に収蔵資料の移転及び新たな常設展示の準備を進めました。SNSの活用については、コロナ禍及び移転のための臨時休館期間がありました。SNSの活用については、コロナ禍及び移転のための臨時休館期間がありました。小学校の郷土学習に対し、臨時休館中であっても新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったうえで対応しました。	歴史民俗資料館	C
(4) 市出身の文化人の顕彰 ・弥富市出身の文化人を中心とした調査研究及び資料収集を引き続き行います。 ・市出身文化人に関する様々な「発信」とガイドボランティア、文化協会との協働により、内外への普及を図ります。	弥富市出身の文化人については、市民グループとの連携により市内の所在情報が収集でき、複数の所蔵者から多数の関係資料の寄贈があったので、今後も資料整理と調査を継続します。コロナ禍により市民文化展や藤祭り等、文化人についての普及事業の機会がなくなり、市民グループの活動も制限されたことから情報発信については十分な成果は得られませんでした。	歴史民俗資料館	D

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
芸術・文化活動の振興	%	14.8	↗	
文化財の保存・活用	%	15.9	↗	

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(1) 市文化協会登録部員数	人	622	614	537	497		630	640
(1) 市文化協会登録団体数	団体	41	39	36	35		43	45
(2) 伝承活動奨励補助事業の実績数	地区	45	44	6	6		45	45
(3) 歴史民俗資料館入館者数(直近5年間の平均値)	人	4,579	5,901	5,646	4,811		6,000	7,000
(4) 文化人の普及に関する事業開催数(展示会、講座、見学会等)	回	5	8	0	1		10	10

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	文化・芸術活動補助事業	生涯学習課	文化協会の活動内容や各種イベント数について見直しができるよう協議検討をする必要があります。	改善
(2)	無形文化財伝承活動奨励補助事業	歴史民俗資料館	令和3年度も前年度に引き続き、コロナ禍により無形文化財の保存伝承活動は困難な状況となりましたが、地域の活動を衰退させないためにも事業を継続する必要があります。	現状維持
(3-1)	歴史民俗資料館移転事業	歴史民俗資料館	令和4年4月のリニューアルオープンに向けて展示の準備が整い、移転が完了しました。 今後は、施設の有効活用のため、図書館や観光課との連携を図り、新たなソフト事業、SNSによる情報発信を充実させて行く必要があります。	終期設定
(3-2)	企画展開催事業	歴史民俗資料館	引き続き、さまざまなテーマで企画展を開催し集客を図ります。SNSの活用によりPRの効果を高めるとともに、企画展開催期間以外の展示室や展示ケースを活用してテーマ展示を行うなど、施設の有効利用とリピーター確保に努めます。	現状維持
(4-1)	文化人情報発信事業	歴史民俗資料館	資料収集、調査研究については今後も継続します。移転後の歴史民俗資料館において文化人の企画展を開催するとともに、企画展示室の空き期間には文化人の常設展示を行うなど実物作品に触れる機会を増やします。また、市ホームページやTwitterの活用した情報発信についてもすすめていきます。	改善
(4-2)	ガイドボランティア及び文化協会協働事業	歴史民俗資料館	今後も関係団体に対し、資料調査や情報提供などの活動支援を行い、団体活動を活性化する必要があります。ガイドボランティアに対しては養成講座を開催し、スキルアップと新規会員募集の支援を行います。また、移転後の歴史民俗資料館において、企画展示室やギャラリーでの展示会開催を計画していきます。	改善
施策の今後の方針【ACTION】		効果的な活動支援の方策を検討しながら、伝統芸能や文化財の保護・保存を進め、次世代に継承するとともに、これらの活動を通じ郷土愛の醸成に努めます。		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	文化・芸術活動補助事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	1	文化芸術団体、指導者の育成	
	主要事業		文化・芸術活動補助事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市民主体の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため、団体の育成、指導者の確保を図ります。					主な協働・ 関連団体等	市文化協会
事業概要	生涯学習講座への講師派遣の依頼や発表機会の提供、活動費の補助など市文化協会の活動支援を促進します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	市文化協会運営 活動費補助金	1,288	市文化協会運営 活動費補助金	1,800	市文化協会運営 活動費補助金	1,800	市文化協会運営 活動費補助金	1,800
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	1,288	合計	1,800	合計	1,800	合計	1,800
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	
(1) 市文化協会登録部員数	人	622	614	537	497		630	640	
(1) 市文化協会登録団体数	団体	41	39	36	35		43	45	

指標の分析 文化協会に登録する各部において高齢化を理由に団体数及び部員数が減少しています。さらに、部員数の減少が進み、部の存続が困難となって退会に至るケースが見受けられます。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	高齢化の影響で部員数、団体数ともに減少傾向にありますが、約500名の部員を抱えており、市民に生涯学習の場を提供する必要があります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	新型コロナウイルス感染症の影響により、協会事業が一部中止となったため、補助金交付要綱に則り、補助金交付額を減額し、適切にコストの削減を行いました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	市民の生活文化の向上を目的としており、市の社会教育に関する諸政策への協力、各種文化事業の開催に対する援助等の事業を行っており、市の文化行政への貢献度の観点から、市が事務的な面や資金的な面で援助する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	運営活動費の補助により協会を存続することができ、市民に文化芸術活動の場を提供することができます。また、市の社会教育に関する諸政策への協力や、各種文化行政に対する援助により、総合計画の施策目標である「文化・芸術の振興」を実現することができ、市の文化行政の発展に寄与しています。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
文化協会の活動内容や各種イベント数について見直しができるよう協議検討をする必要があります。	改善

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	無形文化財伝承活動奨励補助事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	2	文化財の保存活用	
	主要事業		無形文化財伝承活動奨励補助事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市内各地域に伝わる芸能（無形文化財）の保存と伝承を推進し、地域での活動の活性化に資することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	弥富市文化財保存会
事業概要	各地区で行われる伝承活動に対し、1地区5万円を上限に助成するとともに、文化財保存会との協働により伝承活動を推進します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市文化財等補助金交付要綱
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	無形文化財伝承活動奨励補助金	272	無形文化財伝承活動奨励補助金	2,250	無形文化財伝承活動奨励補助金	2,250	無形文化財伝承活動奨励補助金	2,250
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	文化財保存会補助金	10	文化財保存会補助金	700	文化財保存会補助金	700	文化財保存会補助金	700
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	山車等整備事業補助金	176	山車等整備事業補助金	700	山車等整備事業補助金	700	山車等整備事業補助金	700
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	458	合計	3,650	合計	3,650	合計	3,650
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	
(2) 伝承活動奨励補助事業の実績数	地区	45	44	6	6		45	45	

指標の分析 コロナ禍により、ほとんどの地区が秋の祭礼を中止しました。地域に伝わる伝統芸能の伝承活動については、大変困難な状況でしたが6地区が可能な範囲で実施しました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	伝承活動を実施する地区は市内全域にあり、祭りの担い手不足という共通の課題を抱えています。伝統的な祭りの保存伝承は、文化の振興だけでなく地域の活性化のためにも必要です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	伝承活動奨励補助事業は、令和2年度から災害等により補助条件の活動日数に満たない場合や祭礼が中止の場合でも補助できることとしたため、コロナ禍により活動が困難な状況でも6地区が実施しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	対象地区は市内のほぼ全域にわたっており、公平に補助を行うため市が実施すべき事業です。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	令和3年度はコロナ禍により目標達成には及びませんでしたが、長期的な継続により地域の文化財の保存活用が図られ、文化の振興と地域の活性化に資することができます。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
令和3年度も前年度に引き続き、コロナ禍により無形文化財の保存伝承活動は困難な状況となりましたが、地域の活動を衰退させないためにも事業を継続する必要があります。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3-1)	歴史民俗資料館移転事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	3	歴史民俗資料館の有効活用	
	主要事業		歴史民俗資料館移転事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	現在の歴史民俗資料館は、昭和46年建築の中央公民館の増改築施設であるため老朽化が進み、今後、修繕等の維持費に多額の予算を要することが見込まれます。また、単独館のため入館者が伸び悩んでおり、これらの課題を解決するため、図書館棟に複合化し、資料館の有効活用を図ります。					主な協働・関連団体等	弥富ふるさとガイド
							資料館を考える市民ワークショップ
事業概要	本庁舎完成後に、保健センターの跡地を改修し、歴史民俗資料館を移転します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市文化協会
							公共施設再配置計画
事業の開始・終了	開始年度	令和元年度	年度	終了年度	令和4年度	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
旧保健センター改修工事 (補助額)		74,765	旧保健センター改修工事 (補助額)	75,000	記念事業(特別展等) (補助額)	300		
改修工事監理委託 (補助額)		2,365	改修工事監理委託 (補助額)	2,460				
移転業務委託 (補助額)		449	移転業務委託 (補助額)	1,760				
備品購入費 (補助額)		5,633	備品購入費 (補助額)	7,436				
展示パネル作成委託 (補助額)		235	展示パネル作成委託 (補助額)	1,200				
合計 (補助額)		83,447	合計 (補助額)	87,856	合計 (補助額)	300	合計 (補助額)	0
		0		0		0		0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析	
-------	--

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	移転前の旧歴史民俗資料館は小規模な単独館で、駐車場が少なく公共交通が不便であるなどの課題がありました。施設の老朽化が進んでいるこの機会に移転し、利用者の利便性向上と移転先の魅力化を図る必要があります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	旧保健センターの改修工事では空調設備設置の部分化、照明のLED化など開館後の維持管理費削減のための見直しを行うとともに、資料の運搬や展示作業を職員で行うなど経費節減に努めました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	歴史民俗資料館は、市の歴史・文化等に関する資料を将来にわたり保存するとともに、それらを正しく伝えるために必要な施設です。また、学校教育に資することからも市が行うべき事業です。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	公共施設再配置計画に位置付けされた事業であり、図書館との複合化により施設の魅力化と有効利用が図られます。また市民の利便性が高まることから利用者増の効果が期待されます。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
令和4年4月のリニューアルオープンに向けて展示の準備が整い、移転が完了しました。今後は、施設の有効活用のため、図書館や観光課との連携を図り、新たなソフト事業、SNSによる情報発信を充実させて行く必要があります。	終期設定

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3-2)	企画展開催事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	3	歴史民俗資料館の有効活用	
	主要事業		企画展開催事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	リピーター確保の観点から有効である企画展を開催し、弥富市の歴史等への理解を深めるとともに市のPRを行い、歴史民俗資料館の有効活用を図ります。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	資料館活動で蓄積された資料をもとに、弥富市に関する様々なテーマで年間2回～3回の企画展を開催します。また、冬期には、小学校3年生の「昔の暮らし」の学習に資する展示を行います。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
消耗品費		82	消耗品費	72	消耗品費	72	消耗品費	72
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
印刷製本費		38	印刷製本費	190	印刷製本費	190	印刷製本費	190
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
手数料		0	手数料	20	手数料	20	手数料	20
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計		120	合計	282	合計	282	合計	282
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	
(3) 歴史民俗資料館入館者数(直近5年間の平均値)	人	4,579	5,901	5,646	4,811		6,000	7,000	

指標の分析 コロナ禍及び資料館移転準備のため約6か月間の臨時休館と企画展の中止により入館者数は減少しましたが、開館期間中の入館者が伸びたため減少幅は抑えられました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	市民が、自分の住むまちの歴史や文化に触れる場所として必要です。常設展示では不十分な展示テーマ等については企画展の開催により情報発信を行い、市の歴史文化の普及に努める必要があります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	コロナ禍により夏の企画展は中止となりましたが、特別展示室やロビーを活用したミニ展示を開催し、スペースの有効利用とリピーターの確保を図りました。また、PRについては印刷物は作成せず、SNSを中心に行いました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	歴史民俗資料館に収蔵された資料の多くは市民からの寄贈によるものであり、それらを調査研究し活用するため、専門知識を有した市の職員により事業を実施していくことが必要です。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	弥富市に関する様々なテーマで企画展を開催することにより、市の歴史文化の理解を深めるとともに、市の魅力のPRにつながります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き、さまざまなテーマで企画展を開催し集客を図ります。SNSの活用によりPRの効果を高めるとともに、企画展開催期間以外の展示室や展示ケースを活用してテーマ展示を行うなど、施設の有効利用とリピーター確保に努めます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4-1)	文化人情報発信事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	4	市出身の文化人の顕彰	
	主要事業		文化人情報発信事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市出身の文化人について、資料収集や調査研究を進めるとともに、市内外に情報発信を行うことにより認知度を高め、文化芸術の振興に資することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	弥富ふるさとガイドボランティア
	市民団体との協働により、資料所在情報等の調査結果を共有し、資料収集と調査研究を進めるとともに、資料館活動を通して、さまざまな情報発信の機会を活用し普及活動を行います。						弥富市文化協会
							弥富市擔風会
					事業概要		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
美術工芸品購入費		0	美術工芸品購入費	50	美術工芸品購入費	50	美術工芸品購入費	50
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
図書購入費		5	図書購入費	50	図書購入費	50	図書購入費	50
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計		5	合計	100	合計	100	合計	100
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	
(4) 文化人の普及に関する事業開催数 (展示会、講座、見学会等)	回	5	8	0	1		10	10	

指標の分析 コロナ禍により各種事業が中止となり、歴史民俗資料館の常設展示及び秋の市民文化展のほかに情報発信の機会を設けることができませんでした。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	長年、文化芸術活動を継続している市文化協会などから、文化人の顕彰が求められています。弥富市の歴史や文化の理解を発信し続けることで郷土愛が育まれます。しかしながら、文化人の貴重な資源の掘り起こしが困難になってきているのも事実です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	コロナ禍により各種事業が中止となり、できる限り年度内に研究成果を得ようとしたしましたが、購入すべき郷土資料を取得するまでの成果が得られなかったため、未執行額が多くなりました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	市民から歴史民俗資料館に寄贈された文化人の作品が数多くあり、これらを調査研究する主な実施主体として文化協会や擔風会などがあります。しかし各団体単独で実施するのは財政的な面や情報発信網の面を考えると市が包括的にとりまとめ運営する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	市出身の文化人について情報発信を進め、市の歴史・文化を正しく理解することは、市民の文化・芸術の振興や市の魅力化につながります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
資料収集、調査研究については今後も継続します。移転後の歴史民俗資料館において文化人の企画展を開催するとともに、企画展示室の空き期間には文化人の常設展示を行うなど実物作品に触れる機会を増やします。また、市ホームページやTwitterの活用した情報発信についてもすすめていきます。	改善

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4-2)	ガイドボランティア及び文化協会協働事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和4年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	4	市出身の文化人の顕彰	
	主要事業		ガイドボランティア及び文化協会協働事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市出身の文化人について、資料収集や調査研究を進めるとともに、市内外に情報発信を行うことにより認知度を高め、文化芸術の振興に資することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	弥富ふるさとガイドボランティア
							弥富市文化協会
							弥富市擔風会
事業概要	市民団体との協働により、資料所在情報等の調査結果を共有するとともに、市民文化展における文化人の展示コーナーの設置、ハイキング等におけるガイドの実施等、情報発信の機会を多く設け普及活動を行います。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	平成21	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
		0		0		0		0
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	主体的な活動を継続している市民団体と連携し事業を実施することは、団体活動の活性化にもつながり、心豊かで文化を育む人づくりに資することができます。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	市民団体との協働により、大勢の人や関心のある人が集まる機会を活用して情報発信することで、コストをかけずに効果を期待することができます。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	市民団体の情報発信力は大きな効果が見込まれるので、主体的な活動を行っている各種団体との協働が必要です。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	文化人の顕彰、情報発信を通して、心豊かな人づくり、文化の薫り高いまちづくりに資することができ、市の魅力化につながります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
今後も関係団体に対し、資料調査や情報提供などの活動支援を行い、団体活動を活性化する必要があります。ガイドボランティアに対しては養成講座を開催し、スキルアップと新規会員募集の支援を行います。また、移転後の歴史民俗資料館において、企画展示室やギャラリーでの展示会開催を計画していきます。	改善